

セミナー質問	回答
AECコレクションを契約しているとACC (Power BI)も利用できるかと考えてよろしいでしょうか。	AECコレクションには「Docs」を利用する権利が含まれていますので、ACCにて「Docs」モジュールを利用できます。Power BIはマイクロソフトさまの製品になります。無料で利用開始できるようですので、ぜひお試しください。
AECの契約にDocsの使用も含まれているのですか？先日アカウントページからDocs for AEC Collectionにアクセスし登録したのですが、初めて見る画面で不安になったのですが。	AECコレクションをご契約いただいた際の「契約管理者」さまが、お客さまのACCを利用開始できるようになっております。契約管理者さまであればDocs for AEC Collectionからアクセスした際にプロジェクトリスト画面に移動しますので、左上の「Account Admin」ボタンより管理画面に進んでください。
ACCにアクセスしてみましたが、どうもAECcollectionに含まれないようです。	AECコレクションをご契約いただいた際の「契約管理者」さまが、お客さまのACCを利用開始できるようになっております。まずは、社内の契約管理者さまにご相談いただければと思います。
日本の現場管理体制が、欧米の手法に変わっていくとAUTODESK社は考えていらっしゃいますか？	「日本か欧米か」という切り分けよりも「生産性向上のために何ができるか？」という問いを出発点に考えるべきかと個人的には思っています。オートデスク社を代表した意見を私は出せませんのであくまで私見になりますが、「生産性向上のためにコンピュータを活用する」というゴールを設定した場合、質問にある「欧米式」に近い体制になる可能性が高いのではないかと考えています。
社内のアクセス権管理の都合上、アカウントアドミンを付与することが難しく、展開のハードルを感じている。アカウントの権限についてAutodeskとして見直す予定や追加する予定などはないのでしょうか。	契約形態に依存してしまいますので一概に言えないのですが、1社で複数テナントサイト(ACCの領域)を利用することも可能です。会社全体のアカウントアドミンを取得するのが難しい場合は、開発用のテナントサイトをご検討いただければ幸いです。
1つのプロジェクトでどのくらいの容量を格納できるのでしょうか？ また、どのくらいの期間格納できるのでしょうか。 期間が過ぎたりする場合にはどうなるのでしょうか？	2023年6月現在、容量は無制限で提供しています。また期間はサービスの契約期間になります。最低1ライセンス以上、ACCを利用する製品をご契約いただければ、クラウド上のデータは保持されます。契約期間が過ぎた場合は、クラウド領域へのアクセスが停止されます。ここから先の詳細はお手数ですが営業担当にお問い合わせいただければ幸いです。